

職員アンケート調査結果について

このたび、当事業所の職員へアンケート調査を実施いたしました。
保護者等に対するアンケート調査結果も踏まえ、職員全員で業務改善に取り組んで参りたいと考えております。

1. 実施期間 令和 4年 12月21日(水) ～ 12月28日(水)
2. 対象者 放課後等デイサービス事業従業者
3. 調査方法 アンケート用紙を配布し、対象者に協力を依頼しました。
4. 調査内容 (1)環境・体制整備 (2)業務改善 (3)適切な支援の提供
(4)関係機関や保護者との連携 (5)保護者への説明責任等 (6)非常時の対応
について調査を実施しました。
5. 回答総数 9件配布中 9件

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

作成日:令和 4年 1月 25日

回答率:100%

事業所名 坂井市社会福祉協議会 希望園

	質問項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点等
		人数 (割合)	人数 (割合)		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7 (80%)	2 (20%)	・園庭があるため、外遊びの環境として恵まれている。 ・活動内容や子ども達の状態に応じて机、衝立、カーテン、マットを利用して臨機応変に個別スペースを作っている。	天候が悪い季節は施設内で運動活動をしたいが、建物の構造上、天井の高さやスペースが不足している。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	8 (90%)	1 (10%)		送迎時や職員の休憩などで、活動提供や支援の際に職員の手が足りない時がある。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9 (100%)			
業務改善	4 業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	9 (100%)		職員ミーティングで協議して、実践し毎日の振り返りで実施状況を確認している。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9 (100%)		アンケート結果集計後、討議会を行い業務改善につなげている。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9 (100%)		昨年度は2月にホームページにて公開している。今年度も2月中に公開予定。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3 (35%)	6 (65%)	第三者による外部評価は行っていないが、地域ボランティアに客観的なご意見や感想を頂き、振り返りや支援改善に繋げている。	コロナ流行に伴い、ボランティアの受け入れが中止になりご意見を頂く場面が減少している。今後、希望園の外部委員会を開催し外部評価を行って行く予定。
	8 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9 (100%)		1月に外部講師を招き虐待防止権利擁護研修を受講した。また、感染症予防対策の社内研修を開催したり、計画的に内外の研修に取り組んで職員の資質向上に努めている。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9 (100%)		保護者面談や活動の中で子どもの障がい特性等の情報収集を図り、アセスメントを実施し個別支援計画を作成している。	
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9 (100%)		事業所独自のツール(強度行動障害アセスメントツールを参考)を使用している。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	9 (100%)		毎月、季節やニーズ、課題に応じた活動プログラムを職員ミーティングで話し合い立てている。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9 (100%)		創作、音楽、運動、コミュニケーション、自立訓練をベースに、季節や文化を取り入れながら活動プログラムが固定化しないよう工夫をしている。	サーキット活動のプログラムがマンネリ化してきたため、職員全員でアイデアを出し合えると良い。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

作成日:令和 4 年 1 月 25 日

回答率:100 %

事業所名 坂井市社会福祉協議会 希望園

	質問項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点等
		人数 (割合)	人数 (割合)		
適切な支援の提供	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	9 (100%)		本人の課題に合わせ、平日は短時間で目標を達成できる活動内容、休日、長期休暇中は個別と集団活動を組み合わせながらじっくりと取り組める活動内容を準備し支援している。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	9 (100%)		お子さんの障がい特性や能力に合わせた、個別と集団の活動を組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9 (100%)		打ち合わせは毎日実施している。送迎担当表や申し送りファイルを通じて、職員が業務や支援内容を確認できるようにしている。	LINE等を取り入れる等して、職員間で情報共有している。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9 (100%)		支援終了後、振り返りで情報共有を図り、共有した情報を申し送りファイルに記入し、不在職員も確認できるようにしている。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9 (100%)		日々、個別ファイルに記録した内容について、毎月、児童発達支援管理責任者が内容を確認している。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9 (100%)		9月と3月に定期のモニタリングを実施している。また、保護者やお子さんのニーズに応じて、計画を変更している。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	9 (100%)		お子さんの課題に応じて、自立支援と日常生活の充実、創作、地域交流、余暇の提供を複数組み合わせ合わせた活動提供を行っている。	
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい物が参画しているか	9 (100%)		検討内容に応じて、管理者及び児童発達支援管理責任者が参加している。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	9 (100%)		学校送迎時に担当教諭と顔を合わせて、学校での様子について引継ぎを行い、お子さんのスムーズな受け入れを行っている。また、行事等による送迎時間の変更は、学級通信等で情報共有している。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	8 (90%)	1 (10%)		現在、対象のお子さんはいない。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	9 (100%)		就学前の移行支援会議に参加し、環境設定や支援方法等の情報収集を行い、事業所での支援体制を整えている。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	9 (100%)		卒業されるお子さんについて、移行先の事業所に支援内容等の情報提供を行う予定。	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9 (100%)		職員に発達障害者支援センターのホームページに掲載されている研修情報を職員に周知し参加を促している。	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか	8 (90%)	1 (10%)	コロナの影響により直接の交流は見合わせ、10月に地域の保育所の園児と手作りのプレゼント交換を行うなどの間接的な交流を行った。	コロナの感染状況や分類に応じて、地域の学童や部活動との交流を検討する。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	9 (100%)		地域の課題や、事業所同士の連携を図る為、積極的に参加している。	
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9 (100%)		保護者がお迎えの際に申し送りを行っている。また、気になることがあった場合は、電話や連絡帳を使用して保護者と情報交換を行っている。	
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	6 (65%)	3 (35%)	送迎時やお迎えの際に、保護者から子育てについて相談があった際は傾聴するなどしている。	ペアレント・トレーニングの知識を習得し、保護者支援ができるスキルを持った職員がいない。令和5年度にペアレント・トレーニングの研修を予定。
30 運営規定、支援の内容、利用者負担額等について丁寧な説明を行っているか	9 (100%)		契約時や内容の変更時には書面を用いて説明している。保護者と顔を合わせる時は、積極的に支援状況を伝えるようにしている。		
31 保護者から子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9 (100%)		送迎時や電話などで相談を受けている。保護者からご希望があれば随時、事業所内相談も行っている。		

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

作成日:令和 4 年 1 月 25 日

回答率:100 %

事業所名 坂井市社会福祉協議会 希望園

	質問項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点等
		人数 (割合)	人数 (割合)		
保護者への説明責任等	32 父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	9 (100%)		10月に放デイの保護者OBによる体験談の講演会を開催した。参加者全員で子ども達の将来について一緒に考える良い機会となった。	保護者会の事業報告を保護者にも周知していく。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9 (100%)		苦情窓口を設けると共に、保護者等には書面を通して説明している。現在のところ苦情はなし。	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9 (100%)		毎月の月間活動予定表と年3回、長期休暇中の活動報告の会報を発信している。	
	35 個人情報に十分注意しているか	9 (100%)		職員一人ひとりが個人情報について意識を高めるよう努めている。	
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9 (100%)		活動予定表はひらがなを振りカラー印刷する等、誰もが見やすい配慮をして配布している。また、お子さんには写真や絵を使い視覚化した伝達を行っている。	
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	8 (90%)	1 (10%)		
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明しているか	8 (90%)	1 (10%)	保護者への活動報告や申し送り時に、各マニュアルに沿って活動を行っていることも伝えられている。	マニュアルの種類や量が多いため、保護者に内容を伝えきれない部分がある。法人のHPに掲載するなどしてはどうか。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行っているか	9 (100%)		災害訓練は年2回、防犯訓練は1回行っている。また、今年度は11月に津波災害の際の避難経路を実際に歩いて確認した。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9 (100%)		虐待の芽チェックリストによる自己点検を実施した。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8 (90%)	1 (10%)	身体拘束が必要な事例が発生した場合は、身体拘束適正化委員会にて事例検討を行い、その結果、身体拘束が必要と判断された場合に、保護者への説明と放課後等デイサービス計画の記載を行う体制を整えている。	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	9 (100%)		主治医から診断書をもらい、その指示を基にサービス提供している。また、保護者からの情報を元に食品提供リストを作成し、おやつを提供している。	
43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9 (100%)		ヒヤリハットを作成し職員ミーティングで共有している。また、7月に勉強会で事例検討を行った。		